

## 平 2 7 年 度 第 3 回 宇 都 宮 市 民 大 学 運 営 協 議 会

日 時 平成 2 7 年 1 1 月 2 0 日 (金)

午前 1 0 時 0 0 分 ~

会 場 中央生涯学習センター 2 0 1 学習室

(中央生涯学習センター 2 階)

### 次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 平成 2 7 年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について・・・資料 1

(2) 平成 2 8 年度宇都宮市民大学講座企画・運営ボランティアスタッフ

企画講座の決定について・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2

3 そ の 他

4 閉 会

## 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(平成26年9月1日～平成28年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職
○ 1	あいば えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
2	いしづか みきお 石塚 幹男	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
◎ 3	おかだ かずなり 岡田 一成	宇都宮共和大学 事務局長
4	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
◇ 5	こぼり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら 主任研究員
6	しまの やすお 島野 安雄	文星芸術大学 特任教授
7	たかせ かずや 高瀬 一也	株式会社 栃木放送 報道制作局長
8	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
◇ 9	ますだ としかず 増田 寿一	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
10	みこがい ひさお 御子貝 久男	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

(五十音順)

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

## 平成 27 年度宇都宮市民大学後期講座の実施状況について

### 1 合同開講式・公開講座

平成 27 年度後期合同開講式・公開講座を下記のとおり開催した。

#### (1) 開催日時

平成 27 年 10 月 27 日 (火) 午後 2 時～午後 4 時

#### (2) 会場

帝京大学 宇都宮キャンパス 地域経済学科棟 101 大講義室

#### (3) 参加者数

170 名

#### (4) 合同開講式

##### ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育委員会 教育長 水越 久夫  
帝京大学 理工学部 学部長 波江野 勉 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会教育長より受講者代表 2 名へ交付

##### イ 受講者の感想・意見

- ・ こらから受講するにあたって心構えができた。
- ・ 学部長の挨拶は大変意義があった。
- ・ 向学心に燃える大勢の市民がいることが分かった。
- ・ 個々の講座のみでなく、市民大学の各講座の受講者が一堂に会することは、連帯感が生まれ励みになる。
- ・ 形式的である。
- ・ 開講式と公開講座の間の休憩時間が長かった。

##### ウ 評価

受講者のアンケートでは、8 割近くが「意義があり良かった」と肯定的な評価であった。

また、受講者が一堂に会することで、学習意欲の高揚につながるとともに、主催者の挨拶に高い関心を持っていることが伺える。

#### (5) 公開講座

##### ア 実施内容

- ・ 講 師 白石 聖 氏  
(帝京大学 医療技術学部 柔道整復学科 准教授)
- ・ テー マ 「肩こりはもうこりごり！～背骨の運動で肩こりをなくそう～」
- ・ 講義内容 肩こりの予防と改善を目的とした家庭でできる背骨の運動などについて、理論と実技指導を学ぶ講座

## イ 受講者の感想・意見

- ・ 実践的で分かりやすい講義が良かった。
- ・ 誰でも悩む肩こりや頭痛についてよく理解できた。少しでも楽になるよう実践してみようと思う。
- ・ 1人でできる上体のストレッチ運動が参考になった。
- ・ 講座終了後に学部の一部見学等の機会があると良い。
- ・ 座学より実際の治療法を知りたかった。

## ウ 評価

受講者アンケートでは、「良かった」「どちらかといえば良かった」との意見が9割以上あり、非常に満足度の高い講座であった。

肩こりは、多くの人が抱える悩みであり、受講者にとって関心度の高いテーマであったと言える。また、講義では、比較的簡単にできるストレッチ運動などの実技もあり、「日常生活で実践していきたい」といった前向きな意見が多く寄せられ好評であった。

⇒ 別紙1参照

## 2 専門講座

平成27年度後期は6講座を開催中。

※「公開講座」を全ての専門講座の第1回目として位置づけている。

### (1) 講座数

6講座（※公開講座を除いた回数はそれぞれ6回～7回）

### (2) 周知方法

広報うつのみや（平成27年9月号）、市ホームページ、パンフレット、チラシ

### (3) 開催期間

平成27年11月2日～12月22日（公開講座を除く）

### (4) 募集定員等

募集定員320名、応募者数426名、受講者数359名

### (5) 講座内容

⇒ 別紙2参照

# 平成27年度宇都宮市民大学後期合同開講式・公開講座実施報告



- ◇開催日時:平成27年10月27日(火)  
午後2時～午後4時
- ◇開催場所:帝京大学 宇都宮キャンパス  
地域経済学科棟 101大講義室
- ◇受講者数:170名
- ◇アンケート回収数:139名(81%)
- ◇出席来賓:0名
- ◇出席主催者:12名

受講者について(全体)		区分	人数	割合
<p><b>(1) 年齢</b></p>	1 20歳未満	0	0%	
	2 20代	0	0%	
	3 30代	1	1%	
	4 40代	1	1%	
	5 50代	5	4%	
	6 60代	60	43%	
	7 70代	60	43%	
	8 80歳以上	11	8%	
	無回答	1	1%	
合計	139	100%		
<p><b>(2) 性別</b></p>	区分	人数	割合	
	1 男性	66	47%	
	2 女性	66	47%	
	無回答	7	5%	
	合計	139	100%	
<p><b>(3) 公開講座と専門講座</b></p>	区分	人数	割合	
	1 公開講座のみ受講	7	5%	
	2 公開講座と専門講座を受講	131	94%	
	無回答	1	1%	
合計	139	100%		
<p><b>アンケート結果 合同開講式について</b></p>	区分	人数	割合	
	1 とても意義がありよかった	44	32%	
	2 どちらかといえば意義がありよかった	64	46%	
	3 どちらかといえば意義があるとはいえない	19	14%	
	4 意義があるとはいえない	6	4%	
無回答	6	4%		
合計	139	100%		
<p><b>公開講座について</b></p>	区分	人数	割合	
	1 とてもよかった	91	65%	
	2 どちらかといえばよかった	41	29%	
	3 どちらかといえばよくなかった	3	2%	
	4 よくなかった	0	0%	
無回答	4	3%		
合計	139	100%		

平成27年度宇都宮市民大学後期専門講座

平成27年11月16日現在

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数
1	下野に咲いた仏教文化Ⅰ ～古代・中世・近世の仏教～ (全6回) 【郷土を愛する地域・文化・歴史コース】	文化財保護審議会(鹿沼市・栃木市・日光市)委員 北口 英雄 氏	11/5 ～12/10	(70) [124] 86
2	若々しい脳で年齢を愉しみませんか (全7回) 【今を読み解く現代社会コース】	獨協医科大学 精神神経医学講座 講師 大曾根 彰 氏 宇都宮大学 農学部 学部長・教授 杉田 昭栄 氏 宇都宮大学 教育学部 准教授 大森 玲子 氏 作新学院大学 経営学部 准教授 笠原 彰 氏 高子数理研 代表 本間 正幸 氏 宇都宮大学 名誉教授 田原 博人 氏	11/2 ～12/21	(50) [87] 77
3	心豊かに「人生90年時代」を生きる ～笑い笑顔で健康な暮らしを～ (全7回) 【今を読み解く現代社会コース】	医師 松本 光正 氏 日本笑い学会 講師 石井 志津夫 氏 フェイスストレッチ・インストラクター 久米 祥子 氏 社会人落語家 三遊亭 圓塾 氏(平井 幸雄 氏) シニアライフアドバイザー 藤井 敬三 氏 トモエヒロ 代表 山崎 友子 氏	11/6 ～12/18	(50) [50] 44
4	健康寿命を延ばすコツ ～足・腰からはじまる健康～ (全7回) 【今を読み解く現代社会コース】  (帝京大学連携講座)	帝京大学 医療技術学部 柔道整復学科 教授 井原 正博 氏 同 上 教授 宮下 憲 氏 同 上 講師 田口 大輔 氏 同 上 講師 長畑 芳仁 氏 同 上 助教 大塚 博史 氏 同 上 助教 太田 大樹 氏 同 上 附属豊郷台整骨院 院長 柳 治司 氏	11/10 ～12/22	(50) [54] 50
5	郷土が誇る美術作家たち (全7回) 【暮らしを彩る教養コース】	日本画家 東京藝術大学大学院 准教授 荒井 経 氏 公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団 理事長 和久奈 ちよ 氏 竹工芸家 重要無形文化財「竹工芸」保持者 勝城 蒼鳳 氏 陶芸家 島田 恭子 氏 一般社団法人 二紀会 委員 / 作新学院大学 顧問 赤羽 カオル 氏 日本版画院 同人 / 栃木県版画協会会員 青木 理 氏	11/5 ～12/17	(50) [59] 53

No.	講座名 (開講数) 【講座コース】	講師	開催 期間	(募集定員) [応募者数] 受講者数
6	<p>ここまで来た 人に役立つロボット ～ロボットと拓く明日の社会～ (全7回)</p> <p>【暮らしを彩る教養コース】</p>	<p>宇都宮大学 ものづくり創成工学センター長 教授 横田 和隆 氏          宇都宮大学 機械システム工学科 准教授 星野 智史 氏          国立研究開発法人 産業技術総合研究所 研究員          宇都宮大学客員准教授 橋本 尚久 氏 /          宇都宮大学大学院 工学研究科 教授 尾崎 功一 氏          サイバーダイন株式会社 研究開発部門 石川 和良 氏</p>	<p>11/6 ～12/18</p>	<p>(50) [52] 49</p>
合 計				<p>(320) [426] 359</p>

※ ( ) の回数には、公開講座を除く

## 平成 28 年度宇都宮市民大学 V スタッフ企画講座の決定について

## 1 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催状況

- (1) 開催日 平成 27 年 11 月 10 日 (火)  
 (2) 場 所 中央生涯学習センター 204 学習室  
 (3) 出席者 委員 10 名  
 ⇒ 別紙 3 参照  
 (4) 応募数 19 企画  
 ⇒ 別紙 4 参照  
 (5) 審査方法 企画者によるプレゼンテーションの審査  
 (6) 選考数 9 講座 (3 コース)  
 (7) 選考基準 ⇒ 別紙 5 参照

## 【参考】

コース	内 容
<b>I 郷土を愛する 地域・文化・歴史コース</b>	地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座
<b>II 今を読み解く 現代社会コース</b>	個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしに生かしていく知恵を学ぶ講座
<b>III 暮らしを彩る教養コース</b>	芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

## 2 選考結果

コース別選定状況は下記のとおり。

分野(コース)	V スタッフ 企画		合 計 講座数	(参考) 調整後応募数
	前期	後期		
<b>I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース</b>	1	1	2	4
<b>II 今を読み解く現代社会コース</b>	1	1	2	6
<b>III 暮らしを彩る教養コース</b>	3	2	5	9
合計	5	4	9	19

- ※ 講座のバランス等を総合的に考慮し、I コースの 1 企画を前期実施から後期実施に調整。  
 III コースの 1 企画を I コースへ変更。  
 (質疑にて企画者に確認。承諾を得た。)

(1) 「Ⅰ 郷土を愛する地域・文化・歴史コース」

【選考結果】

1 グループ、2 個人から4本の企画提案があり、No.2, No.4の2企画を選定した。

【講座内容】

No.2 「下野の夜明け」

～世直し一揆から栃木県へ～

現在残されている多くの資料をもとに、幕末から明治を迎えた下野諸藩と民衆の史実を学ぶ講座。下野を舞台に展開した歴史について学ぶことをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 市民の知的好奇心をくすぐる良い企画である。
- ・ 地域の歴史を学び直すことにより、地域への愛着や生き方にもつながる。

No.4 「『おくのほそ道』とその旅」

～詩歌のための旅、そして創造のための旅～

紀行文「おくのほそ道」を学ぶ講座。郷土下野を中心に行程で出会った風景や土地の人たちに対する愛情の表現などを通じて、現代の日本人が失われつつある感性を培うことをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 下野から奥州までの旅を通して自然や人生を学ぶスケールの大きな講座であると思う。
- ・ 俳句クラブ等のニーズも把握しており、人気講座になるかと思われる。

(2) 「Ⅱ 今を読み解く現代社会コース」

【選考結果】

3 グループから6本の企画提案があり、No.1, No.6の2企画を選定した。

【講座内容】

No.1 「やさしい『論語』教室」

～今も生活に根差している論語の教えをひも解く～

生き方の指針にもなり得る「論語」について学ぶ講座。自分自身を見つめ直し、より良い生き方の実践に役立つ知恵を身に付けることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 今、必要とされている心の教育に役立つと思う。
- ・ 「論語」に関する講座については、過去の開催もあったが、講師も違い、差し支えないと考える。

#### No.6 「知って得する，大人の常識！」

～考えよう。備えよう。楽しく生きる道！～

現代の日本人に必要とされている知識として，心の健康や体の健康，生活トラブルについて学び，現在の生活に如何に役立てるかを考える講座。より良い生活環境を再構築することをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 心と体の健康と生活トラブルの組み合わせは面白い。ニーズはあるのではないかな。
- ・ 心と体，両方とも健康でなければ楽しい生活は難しい。どう考えるか，いい講座だと思う。

### (3) 「Ⅲ 暮らしを彩る教養コース」

【選考結果】

6グループ，1個人から9本の企画提案があり，No.2，No.4，No.6，No.7，No.8の5企画を選定した。

【講座内容】

#### No.2 「運慶仏の魅力を読み解く」

鎌倉彫刻を代表する慶派仏師の運慶に焦点をあて，仏像の造仏の時代的背景と魅力を学ぶ講座。仏像を拝観する見方をさらに広げることをねらいとする。

(委員コメント)

- ・ 人気のあるシリーズで，今回視点を変えて企画された。マンネリ化を防ぐためにも結構なことである。
- ・ 県内の関連した仏像も取り上げた内容で，市民のニーズにも十分対応した企画と考える。

#### No.4 「平家一門の滅亡」

～「平家物語」は最後に何を伝えようとしたのか～

物語に登場する武士等の過酷な人生を参考に，人生における何らかのヒントを学ぶ講座。日本の代表的古典文学を概論的に読み解き，教養を身に付けることをねらいとする。(平成27年度前期実施講座の後編にあたる。)

(委員コメント)

- ・ 興味深い内容で，講座としてもうまくまとめられている。特に，栃木と平家との関係への着目が評価できる。
- ・ 市民ニーズも高く，時系列での後編という企画も良い。

## No.6 「読んで・見て絵巻の世界」

### ～物語る絵に綴られた歴史と文化を読み解く～

絵巻の魅力に触れ、物語を読み、絵を読むことで、受講者が主体的に関わりながら学ぶ講座。絵巻から当時の様子を思い考えてもらうとともに、新たな視点から文化や歴史、遺産について興味や関心を高めることをねらいとする。

#### (委員コメント)

- ・ 絵巻物を題材にした歴史・文化の学習は、今までに無く興味深い。
- ・ 新しい切り口からの美術講座なので、集客が見込める。

## No.7 「今、デザインが面白い！」

### ～良いデザインは個人の生活を豊かにし、企業、地域、国家の産業力を活性化する～

プロダクト・デザインを中心にその考え方や身近なデザインの事例について学ぶ講座。生活を豊かにする「良いデザインを見る目」を養うことをねらいとする。

#### (委員コメント)

- ・ 今、デザインが注目されており、タイムリーな企画だと思う。
- ・ 今のニーズを捉えていること、また、多様な視点からの企画等充実した内容にまとまっている。

## No.8 「古典に親しむ」

### ～こんな時代だからこそ「方丈記」を読みほどこきませんか～

日本三大随筆のひとつ「方丈記」を学ぶ講座。豊かで格調高い名文を読み味わいながら、今なお現代人の心を魅了し、愛され続けている作品の世界に迫ることをねらいとする。

#### (委員コメント)

- ・ 様々な読み方ができる方丈記を取り上げることで、参加者それぞれの問いにも答えられる機会となるのではと思う。
- ・ 古典文学はニーズが高いので、受講者数は多いと考える。

## 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会委員名簿

任期：宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会運営要領第4条の規定による期間  
(平成26年9月1日～平成28年8月31日)

No.	氏名	所属団体等役職	出欠
◎ 1	あいは えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長	○
2	きくち ゆきお 菊池 幸男	株式会社 とちぎテレビ 報道制作局長兼報道部長	○
3	さとう ひでお 佐藤 英雄	株式会社 エフエム栃木 常務取締役	○
○ 4	しのぶ すすむ 信夫 享	宇都宮短期大学 事務局長	○
5	しまだ しげお 島田 繁雄	宇都宮メディア・アーツ専門学校 校長	○
6	はちや だいはち 蜂屋 大八	宇都宮大学 基盤教育センター 特任准教授	○
7	ひらの のりこ 平野 紀子	栃木県教育委員会事務局 河内教育事務所 所長補佐兼ふれあい学習課 課長	○
8	おおくぼ あつこ 大久保 敦子	宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 課長	○
9	たかかも かおる 高賀茂 薫	宇都宮市教育委員会 中央生涯学習センター 所長	○
10	たべい ひろえ 田部井 広江	宇都宮市教育委員会事務局 人材かがやきセンター 地域教育指導員	○

◎ 委員長

○ 副委員長

平成27年度宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会選考結果一覧表(調整後)

(平成27年11月10日 実施)

※ 平成28年度実施 Vスタッフ企画運営専門講座数 9講座

コース	番号	講座名	時期	企画者	得点	コース 順位	全体順位
I 郷土を愛する地域・文化・歴史	1	あなたの住んでいる地盤は大丈夫ですか ～防災に役立つミニ知識～	後期	ともしび	172	3	9
	2	<b>【前期実施から後期実施へ調整】</b> 下野の夜明け ～世直し一揆から栃木県へ～	後期	ともしび	189	1	3
	3	中世東国武士の信仰 ～宇都宮一族と親鸞～	後期	大山真一	167	4	10
	4	<b>【ⅢコースからⅡコースへ変更】</b> 「おくのほそ道」とその旅 ～詩歌のための旅、そして創造のための旅～	前期	宇賀神光夫	183	2	5
II 今を読み解く現代社会	1	やさしい「論語」教室 ～今も生活に根差している論語の教えをひも解く～	前期	ともしび	180	2	6
	2	世界の現実に触れる ～シニアの体験的異文化コミュニケーション～	前期	ともしび	147	5	18
	3	地球温暖化と異常気象 ～やがて日本から冬が消える?～	前期	ともしび	150	4	17
	4	みんなで守ろう子どもの未来 ～手をさしのべるための学び～	前期	ともしび	146	6	19
	5	激動する現代社会を賢く暮らす知恵 ～社会の変化に対応した人生設計を考える～	前期	栃の実	151	3	16
	6	知って得する, 大人の常識! ～考えよう。備えよう。楽しく生きる道!～	後期	宙(そら)	184	1	4
III 暮らしを彩る教養	1	宇宙の不思議 ～ここまで進んだ航空宇宙科学～	前期	宙(そら)	161	6	12
	2	運慶仏の魅力を読み解く	後期	ともしび	193	1	1
	3	60代からの食品添加物入門 ～食品表示の読み方～	後期	ともしび	153	9	15
	4	平家一門の滅亡 ～「平家物語」は最後に何を伝えようとしたのか～	前期	大山真一	193	1	1
	5	音楽で心豊かな毎日を ～歌による感動を体験する～	後期	フォルティッシモ	155	8	14
	6	読んで・見て絵巻の世界 ～物語る絵に綴られた歴史と文化を読み解く～	前期	よつ葉のクローバー	177	3	7
	7	今, デザインが面白い! ～良いデザインは個人の生活を豊かにし, 企業, 地域, 国家の産業力を活性化する～	前期	ジャンプ	175	4	8
	8	古典に親しむ ～こんな時代だからこそ「方丈記」を読みほどこきませんか～	後期	みやの塾	164	5	11
	9	最新の宇宙研究 ～宇宙138億年を旅する～	前期	みやの塾	157	7	13

## 「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

### 1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

### 2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている